



# 北海道下川町

第1回ジャパンSDGsアワード  
SDGs推進本部長賞受賞

企業版ふるさと納税

# 募集

## 下川町の概要

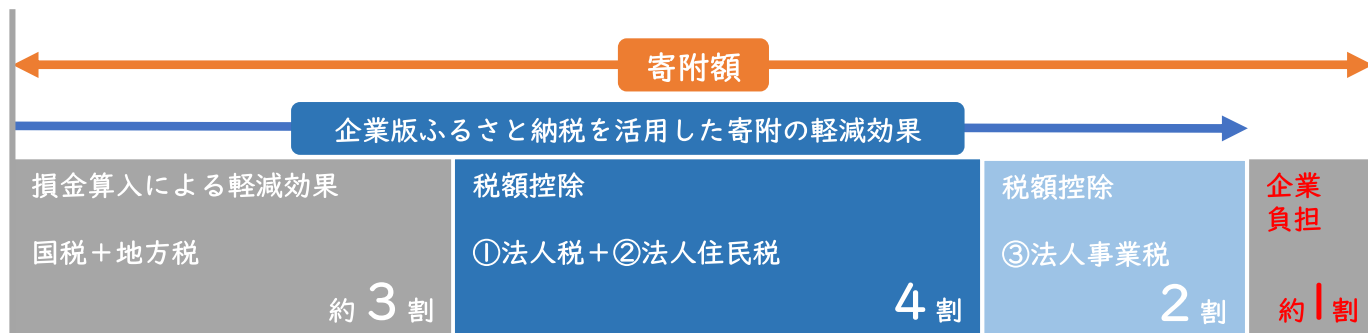


北海道下川町は、北海道の北部に位置する人口約3,000人の町で、町面積の約9割が森林で覆われ、豊かな自然環境を背景に農林業を基幹産業とした農山村地域です。

「伐ったら必ず植える」を60年サイクルで繰り返す循環型森林経営をまちづくりの基軸に、国から、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市などの選定を受けながら、経済・社会・環境の三側面の調和による持続可能な地域社会の実現を目指しています。

## メリット

軽減効果最大で **9割!** ⇒ 実質負担 **1割!**



- ①法人税 寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割の20%が上限）
- ②法人住民税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

# 企業版ふるさと納税 主な活用事業

## 「持続可能な森林経営」への活用



下川町は、約4,700haの町有林を有しており、植林と伐採、適正な森林管理を60年サイクルで続ける「循環型森林経営」を理念に、伐採された木材は、地域内で様々な形に加工し、付加価値を高めて地域外に流通させ、原木の安定供給と雇用の確保を図っています。この事業への寄附金は、樹木の植栽、主伐など、町有林の整備に活用させていただきます。



## 「町民が主体となったSDGsまちづくり」への活用



下川町は、町民が主体となり「2030年における下川町のありたい姿」を策定しました。町独自に7つの目標を設定し、持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

この事業への寄附金は、ありたい姿の実現のため、町民が自主的・主体的に取り組む活動への支援に活用させていただきます。



## 「スキージャンプの聖地・下川町から次のメダリスト育成」への活用



下川町は、スキージャンプ界のレジェンド・葛西紀明選手をはじめ、多くのジャンプ選手を輩出している町で、これまでに7名のオリンピック選手が誕生しています。

この事業への寄附金は、未来のオリンピックを目指す子ども達のスキージャンプ育成に活用させていただきます。



## 「ゼロカーボンシティしもかわの実現」への活用



下川町は、2022年3月に「ゼロカーボンシティしもかわ宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロのまちを目指しています。

この事業への寄附金は、町民のエコ活動の促進や二酸化炭素排出量や吸収量の把握に活用させていただきます。

**しもりんエコポイントが始まります！**

省エネ

★実施期間：令和元年8月20日～令和2年1月14日（予定）まで  
※令和2年12月以降は、令和4年度以降も実施予定です。

★ポイント登録受付：毎週火曜日 13:00～17:00（祝祭日・年末年始除く）  
※前年度12月31日現在の住所に住所変更あり。

★ポイント登録場所：クラスター推進部（一部メニュー除く）  
★ポイント対象メニュー：全12種類  
※及びバーベキューメニュー（数量と確認済み）

- ◆上記以外にも様々な事業を実施していますので、お気軽にお問い合わせください。
- ◆カーボン・オフセット（経済活動で生じた二酸化炭素を森林吸収量等で埋め合わせ）のクレジットも販売しています。
- ◆その他にも企業の皆様と連携させていただき、地域課題の解決に向けてご協力いただければ幸いです。



お問い合わせ先  
**北海道下川町総務企画課**  
 TEL:01655-4-2511 E-mail:s-kikaku@town.shimokawa.hokkaido.jp